

■2020 年度前期（第 12 期）トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム 留学計画作成のポイント

募集要項を熟読し、以下の留学計画書の作成ポイントを参考に留学計画を作成しましょう。

募集要項の趣旨および概要には目的に基づいた実践的学びの重要性が明記されています。実践活動先の確定、その知名度よりも、応募動機や将来のビジョン、留学のミッションに沿った実践活動（テーマ、目的、機関）であるかどうかを重視して審査が行われます。

各自作成した留学計画書および自由記述申請書は第三者（演習担当者・家族・友人等）に見てもらい、計画内容の妥当性及び適切な表現ができているかどうか必ず確認し、より質の高い留学計画にしましょう。

・選考における観点

**募集要項 6. 派遣学生の選考における審査の観点の内容を熟読し、申請書類を作成すること。
「計画」と「人物」で評価がなされます（審査全体では人物面を重視）。**

※書面審査： 留学計画 ⇒ 留学に詳しい専門家（大学教授等）と支援企業の人事担当者
人物 ⇒ 支援企業の人事担当者

面接審査： 支援企業の人事担当者が評価します。

・留学計画書作成ポイント

1. 留学計画に求められる要素

Point 1 大きな夢や留学への想いを、自分の言葉で伝えられているか？

留学を決めた背景、目的、挑戦したいことは何か。なぜ日本代表プログラムなのか？

Point 2 受け身の学びだけでなく実践・挑戦する活動を盛りこむことができているか？

インターンシップやフィールドワークなど、「社会との接点」を作り、主体的かつ実践活動を盛り込んだ計画になっているか？

Point 3 留学のゴール・アウトプットを明確に表現できているか？

達成したい目標、実現したいアウトプットは何か？ その成果の測定方法は？

Point 4 留学経験をどう社会に還元できるか？

社会にどんな影響を与え、どのような形で動かしたいのか？

自分はトビタテ生としてどのような活動をしていくのか？

Point 5 留学計画を実行する意欲と意志を持っているか？

留学プランを実現するために必要な準備、スケジュールは調査、検討、熟考されているか？

実現のために努力、行動していること、行動しようと予定していることは何か？

2. 留学先機関について **留学先機関とのコンタクト・交渉をすぐに始めよう！**

①申請時に受入許可証や留学先機関との接触が始まっている等、**留学計画の実現性を証明できる文書の写しを提出できる場合には加点対象**となります。

②第 1 希望だけでなく、第 2 希望等も想定しておきましょう！

採用決定後に当初の留学計画を変更する場合には手続・審査に時間を要します（内容によっては再審査）。

第 2 希望、第 3 希望の受入れ機関も検討し、計画を作成しましょう。

2. 自由記述書について

「留学計画のタイトル」、応募期、コース、大学名、氏名を必ず明記し、以下の4項目について具体的かつ明確に記載しましょう。

① 留学によってどんな自分になりたいのか

- ・現時点での目標到達度、留学成果としての達成度
- ・留学する必要性と、留学先機関との関連性は書かれているか？

② 困難を克服した経験

- ・どのような事例があり、自らの工夫・考え・行動によりどのように克服したのかをわかりやすく表現すること
- ・その経験がどのように現在の自分に影響しているか、留学に活かせる点はあるか？

③ トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラムに対して自身が貢献できると考えること

- ・自身の貢献内容が、趣旨や事業概要等に沿ったものか？
- ・トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラムが自分を選ぶことにどんなメリットがあるか？

④ その他アピールできるポイント

- ・他者と異なる点は何か？
- ・自分がトビタテの支援する人物像にどのような点においてふさわしいのかも考えてみよう

3. その他の注意事項

審査員は多くの学生を審査します。

書面審査を通過するために、以下の点には十分注意して計画を作成しましょう。

① 誤字・脱字はないか？

- ・オンライン申請時も必ず出力して確認しましょう。

② 読み手にとって、読みやすい文章になっているか？

- ・内容について専門外の審査員が読んでも理解できるように書きましょう。

③ 視覚的に読みやすく工夫されているか？

- ・自由記述書は図、グラフ、写真を取り入れる等して工夫しよう。

④ 記載内容全体を通じて、矛盾点や説明不足の点はありませんか？

- ・完成させたと思っても、もう一度 客観的な視点で読み直しましょう。

オンライン申請時：1つのPDFにまとめてアップロード 合計サイズ2MB まで

- ・自由記述書（A4・タテ2枚）
- ・受入許可書等

※未来テクノロジー人材枠は記載項目および添付書類が異なるため、別途確認すること

留学計画内容を何度も練り直し
“支援に値する”と評価されるようなものにしましょう！

以上

日本代表プログラム 大学生等コース

[日本代表プログラム
大学生等コース](#)[留学計画書の
作り方](#)[募集要項](#)[オンライン申請
初めての方](#)[オンライン申請
ログイン](#)[大学生等コース
FAQ](#)[教職員の方](#)

留学計画書の作り方

日本代表プログラムでは、留学計画を自分自身で設計することができます。海外でどのような経験をしたいのか、どのような活動をしたいのか、考えてみましょう。

留学計画の5か条



POINT1 夢・想い

大きな夢や留学への想いを、自分のコトバで！

留学で何をするかは自分次第。留学に行きたいと思った背景、目的、挑戦したいことを自分のコトバで伝えよう。



POINT2 ゴール/アウトプット

留学のゴールを明確に！

留学で何をするかは自分次第。留学に行きたいと思った背景、目的、挑戦したいことを自分のコトバで伝えよう。



POINT3 活動（実践・挑戦）

実践活動を盛り込もう！

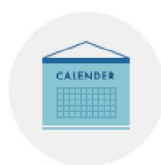
座学だけでなく、ゴールに向けてさらなる成長を目指すため、「実践活動（※1）」を盛り込もう。



POINT4 社会への還元

留学経験をどう還元できるか、考えてみよう！

トビタテ！留学JAPANの「日本代表」として社会にどんな影響を与えたいのか、どんな形で動かしたいのか、考えてみよう。



POINT5 実現可能性

留学計画を実行する意欲と意志！

留学計画を実現するために必要な準備やスケジュールを調査、検討、熟考しよう。計画が実現なかった場合の代替案も含めて検討してみよう。

(※1)実践活動とは：座学や知識の蓄積型ではなく「実社会との接点」から多様な学びを得ることができる学修活動(インターンシップ、フィールドワーク、ボランティア、プロジェクトベースラーニングなど、上記の趣旨に沿う多様な学修活動)のことをいいます。

留学計画作りの流れ



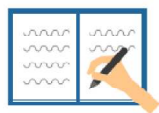
STEP1 自分の将来をじっくり考えてみよう

- 自分が将来やりたいこと、やりたくないこと、好きなこと、苦手なことを改めて考え直してみる
- 留学をなぜしたいのか、どんなことを学んで経験したいのか、想いや目標をまず自分のコトバで書き出し、明確化する



STEP2 実現するための情報を集めよう

- 所属大学等の国際課、留学・ボランティア団体、企業インターンなど、留学計画の「材料」を集める
- ネットだけではなく直接留学経験者やアドバイザー/コーディネータなどからの具体的なアドバイスを得る
- 日本代表プログラムへの応募に必要な情報を確認する



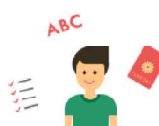
STEP3 留学計画を立ててみよう

- 留学計画書の項目を確認し、まずは想いを書いてみる
- 自分の想いを形にするための活動内容を設計してみる
- 留学先機関への問い合わせや申し込みをする(※2)
- スケジュールや卒業/単位等を考える



STEP4 自分の将来をじっくり考えてみよう

- 必ず家族や友人、留学経験者の先輩や社会人などに自分の計画を話し、客観的な意見や質問をもらう
- 所属機関の留学アドバイザー/コーディネーターに相談する
- 繰り返し書き直し、より伝わりやすいように工夫する



STEP5 必要な準備を整えよう

- 実現の可能性を高めるために、留学先機関などと十分話し合う
- パスポートやVISA、授業料に係る根拠等の必要書類を考える
- 必要となる語学力の確認及びそれに対する準備を考える
- チェックリストをダウンロードし、[募集要項](#)に適合した計画であるか最終確認をする

(※2)応募時点で留学先機関が未定の場合は「予定の見込み」でも結構です。

留学計画のオンライン申請

※本制度の支援を受けるにあたっては、[募集要項](#)に記載された要件を満たすことが必要です。
不明な点は各在籍大学等の担当窓口にお問い合わせ下さい。

※申請は在籍大学等から行われます。必ず大学等へ申し出てください。